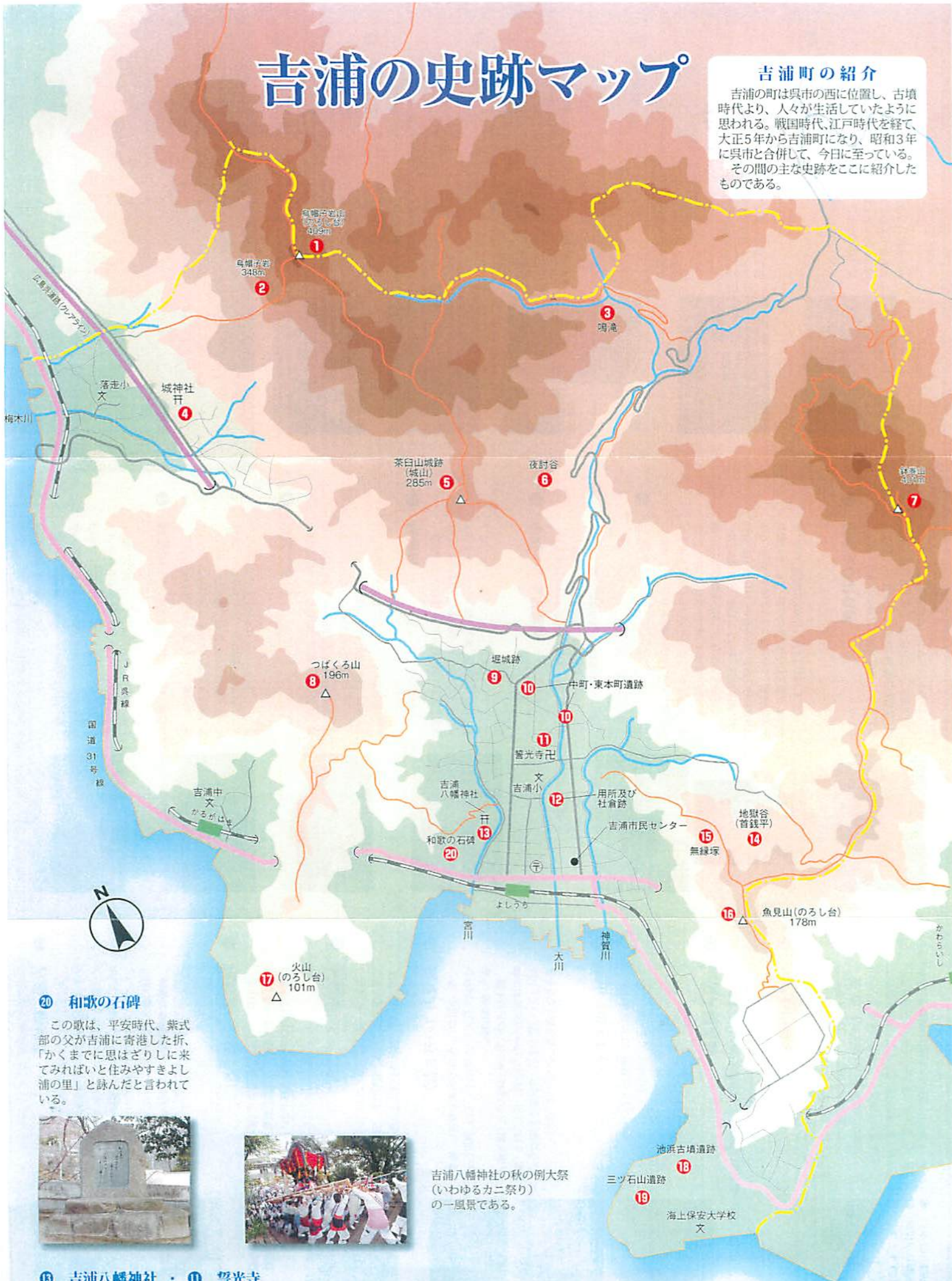


吉浦の史跡マップ

吉浦町の紹介

吉浦の町は呉市の西に位置し、古墳時代より、人々が生活していたように思われる。戦国時代、江戸時代を経て、大正5年から吉浦町になり、昭和3年に呉市と合併して、今日に至っている。その間の主な史跡をここに紹介したものである。



20 和歌の石碑

この歌は、平安時代、紫式部の父が吉浦に寄港した折、「かくまでに思はざりしに來てみればいと住みやすきよし浦の里」と詠んだと言われている。



吉浦八幡神社の秋の例大祭(いわゆるカニ祭り)の一風景である。

13 吉浦八幡神社 ・ 11 誓光寺

明治時代に吉浦の石工140数名がロシアのシベリア鉄道建設の出稼ぎに行き帰った記念に、13吉浦八幡神社の境内の狛犬一對を奉納、また11誓光寺にも同じ人名の人が打敷(うちしき)を同時に奉納している。

大麗女島

吉浦ふれあい事業推進委員会
吉浦郷土史研究会(平成20年3月作成)